

支給額は増加予想も、「生活費補填」が増加

～2023年冬のボーナス予想調査～

連合熊本の調査によると、2023年の県内の賃上げは平均1万円を突破し、賃上げ率は29年ぶりの高水準となった。一方で、食料品を中心に幅広い品目の価格が上昇しており、家計の大きな負担となっている。このような中、当研究所では32回目となる、「冬のボーナスの使いみち」についてアンケート調査を実施した。

支給額は「増加」予想が過去10年間で最も多い結果であったものの、物価上昇に追いついていないとの意見もみられ、「使いみち」としては、貯蓄・資産運用が依然として多く、今回は特に生活費の補填が増加した結果となった。

【調査結果】

1. 調査対象：熊本県内在住20～50代のボーナスを支給される予定の人（世帯）
2. 調査期間：2023年11月2日～6日
3. 調査方法：調査会社登録モニターへのネット調査（調査会社：(株)マクロミル）
4. 有効回答：415人

（上段：人・下段：％）

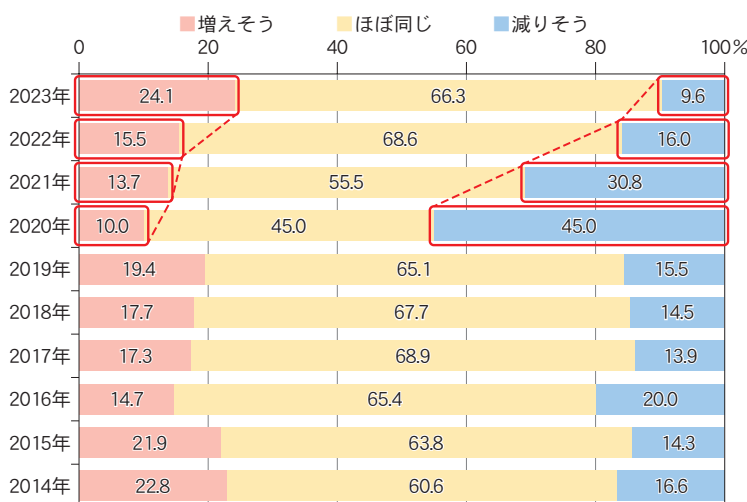
	年代					勤務先*				
	全体	20代	30代	40代	50代	公務員	経営者・役員	民間（事務系）	民間（技術系）	民間（その他）
全体	415 100.0	81 19.5	113 27.2	113 27.2	108 26.0	96 23.1	7 1.7	102 24.6	83 20.0	127 30.6
男性	195 100.0	25 12.8	57 29.2	57 29.2	56 28.7	56 28.7	3 1.5	41 21.0	38 19.5	57 29.2
女性	220 100.0	56 25.5	56 25.5	56 25.5	52 23.6	40 18.2	4 1.8	61 27.7	45 20.5	70 31.8

*主に家計を担っている人の勤務先

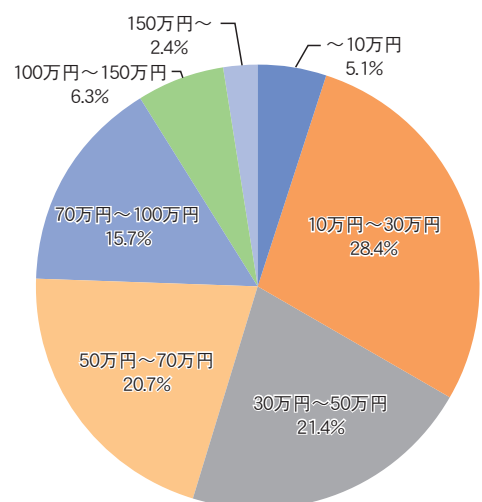
1 今年の冬のボーナス支給予想

- 今年の冬のボーナスは、「増えそう」が24.1%（前年比+8.6ポイント、以下p）と大きく増加した（図表1）。
- 「減りそう」は9.6%（同▲6.4p）と減少し、過去10年間で最も低い水準となった。

図表1 ボーナスの増減予想推移



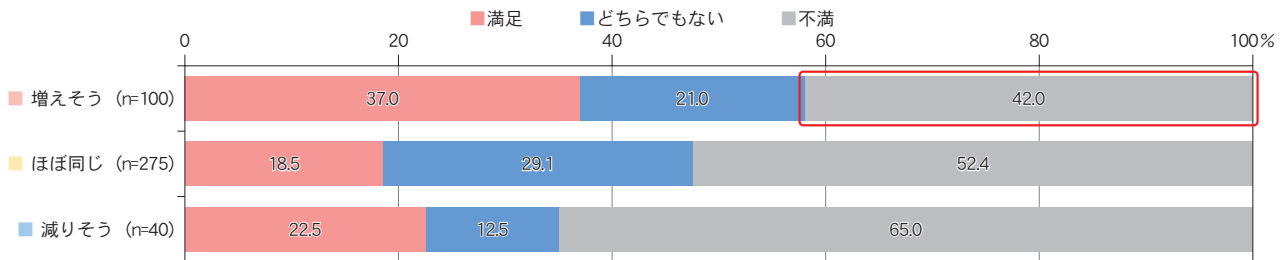
図表2 ボーナス支給金額



2 ボーナス支給額への満足度

- 支給額の増減予想が「増えそう」の中でも、支給額に対し「不満」が42.0%となっている（図表3）。
- 「不満」の理由として、「物価上昇に追いついていない」という意見が多くみられた（図表4）。

図表3 ボーナス支給額への満足度



図表4 支給額が「増えそう」かつ満足度「不満」の理由（自由回答より）

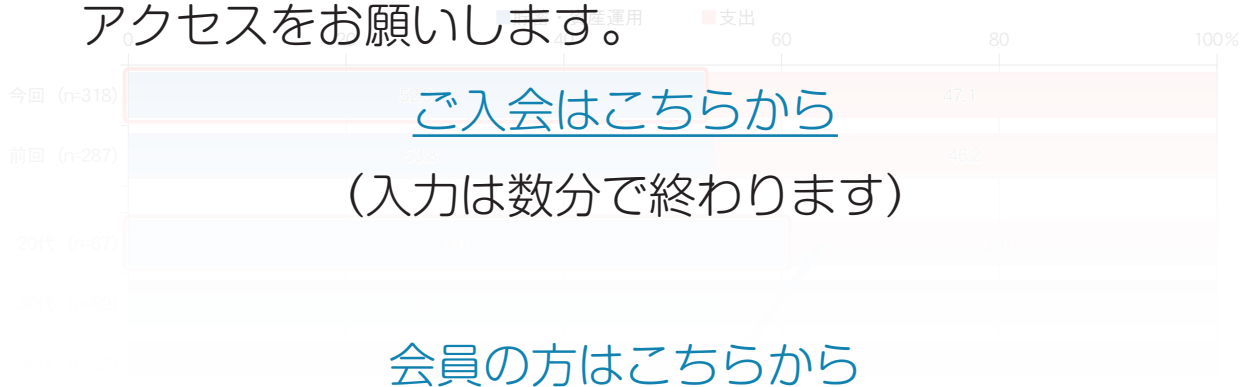
性別・年代	職業	自由回答
女性20代	パート・アルバイト	ガソリン代が上がったり物価高が続いているので、それに応じてボーナスも上げてほしい。
女性30代	専業主婦	物価高を考慮し、上げてほしい。
女性30代	公務員	物価の上昇幅にあっていないから。
男性50代	会社員	リーマンショックの時に半分になってそれから戻っていない。
男性50代	公務員	月例給の抑制が続いており、僅かの増では生活費の不足に届かない。

3 ボーナスの使いみち

(1)「貯蓄・資産運用」と「支出」のバランス（金額ベース）

- ボーナスの使いみちのうち、金額ベースで「貯蓄・資産運用」へ充てる割合は52.9%（前年比▲0.9p）と「支出」を上回る（図表5）。
- 以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
アクセスをお願いします。



（入力は数分で終わります）

[会員の方はこちらから](#)